

宮城県看護協会 仙台東支部だより

第75号
令和6年1月29日
発行者
宮城県看護協会
仙台東支部
編集責任者
仙台東支部
広報委員



2つの教育研修会

1 知っておきたい慢性心不全の看護支援

令和5年9月29日(金)に「知っておきたい慢性心不全の看護支援」の講演会を開催し、36名の方に参加して頂きました。慢性心不全看護認定看護師の東北医科薬科大学病院 芳賀美智代先生、仙台オープン病院 伊藤綾先生を講師および助言者としてお迎えしました。参加者からは「講義が分かりやすかった」「意見交換を通して悩みを共有でき、刺激や元気をもらった」との声が寄せられました。本講演会での学びを共有してもらい、良い看護ケアにつなげて欲しいと思います。

2 尊厳を守る動きの支援

令和5年12月2日(土)に「尊厳を守る動きの支援」の講演会を開催し、16名の方に参加して頂きました。講師に仙台オープン病院看護部長 和知洋子先生、インストラクターに同病院の4名の先生方をお迎えしました。演習で患者体験をし、対象者の力を利用して「自ら動く」ことがこれほど心地よいものであることが体感できました。同時に普段の移動介助が対象者に不安や恐怖を与えていたことが分かりました。今回の移動技術は介助者、対象者共にやさしいケアであると実感できる貴重な機会となりました。

(仙台看護助産学校 菅原由香里)



みやぎのまつりに参加して

今年もみやぎのまつりが11月5日に開催されました。今年から飲食の出店も再開され、肌寒さを感じる天気でしたが、多数の方が来場されていました。「まちの保健室」にも老若男女の多くの方に立ち寄って頂きました。年齢に関わらず健康に関心が高いことを改めて実感させられました。このような気軽に健康相談ができる場合は意外に少なく、気軽だからこそ色々な方に立ち寄って頂けたのではないかと思います。看護師として新鮮な経験をさせて頂きました。

(仙台東脳神経外科病院 小熊 花子)



体脂肪測定:107名
血圧測定:81名
健康相談:4名
認知症テスト:13名の方が利用されました。

管理者ネットワーク会議を終えて

本年度は「看護管理者としての悩みや課題の解決」を目標に、石井幹子看護協会長をファシリテーターに迎え、グループワークを中心に25名参加し開催しました。2時間という限られた時間で、活発な意見交換を行いました。アンケート結果からは「非常に勉強になった」「同じ志で仕事をしている人が沢山いて心強い」「今後も情報共有の場を設けて欲しい」と有意義な時間を共有できました。今後も、会員の皆さんが興味を持って参加できる会にしていきたいと思えます。



石井会長



出張！健康相談室へようこそ

田子ヤマザワで健康相談が行われました。ご利用された方は11名ほどで、はるばるのご案内をめぐけていらした方や認知症の親の介護中の方が、介護の悩みや介護が終わったけれど対応が良かったのかどうかのご相談、ご自分の健康維持のためのご相談などをされていました。また、実際の介護保険の事やご利用についてなど、相談員の方に相談に乗ってもらうなどの連携も出来て本当に良かったです。

